

応援奨学生に関するアンケート結果（平成28年度）

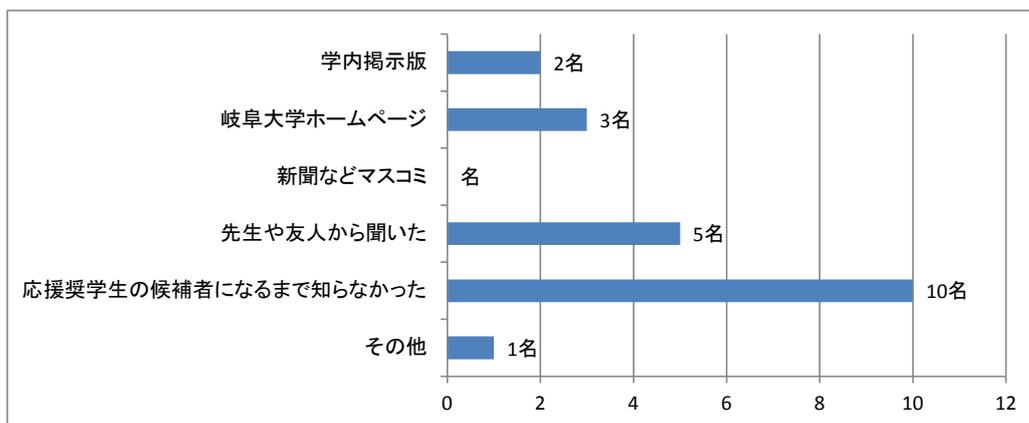
「応援奨学生」制度は、平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に開始されました。

今回は平成28年度に応援奨学生として奨学金を受給された25名の方を対象に、今後の参考とするために実施したアンケート結果です。

回答者数21名

1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？

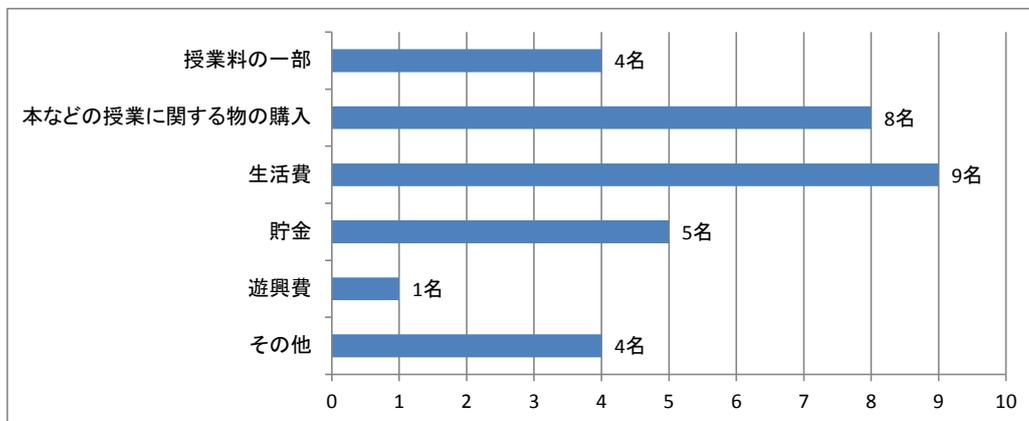


こういった告知形式を取れば、学生への認知を広めることができると思われますか？

- ・ メールで告知する。
- ・ AIMSで告知を行う。
- ・ 授業・ゼミで告知する。
- ・ 学部の掲示版にポスターにして掲示する。
- ・ 後期のガイダンスで告知する。

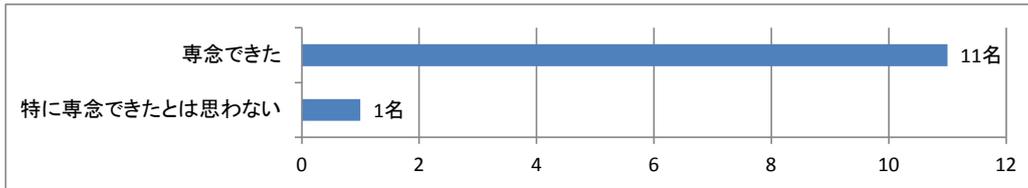
2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

(1) 主な使途について



- ・ その他 卒業制作費用。交通費。就職活動費。留学費。

(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



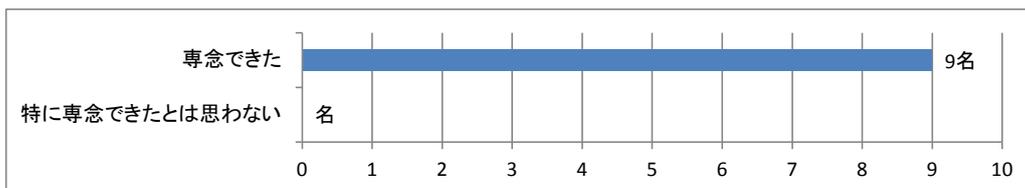
専念できた理由

- ・ 専門書・参考書等を購入することができ、理解を深めることができた。
- ・ アルバイトにかかる時間を減らし、制作や学習に充てることができ、充実した1年であった。
- ・ 卒業制作の材料費に使用することができ、良い作品を作り上げることができた。
- ・ 卒業論文を書くための必要な資料等に充てること、研究にとっても役立った。

特に専念できなかった理由

- ・ 他の奨学金返済のこともあり、伸び伸びとはいかなかった。

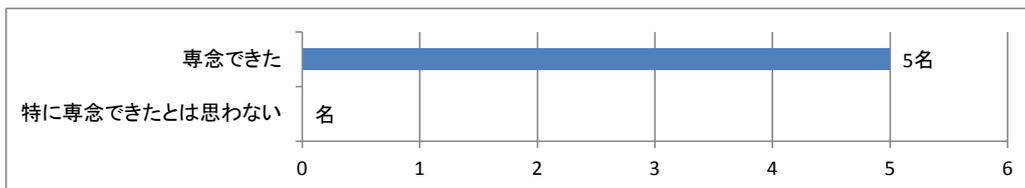
(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・ アルバイトの時間が減り、その分勉強の時間に充てることができた。
- ・ アルバイトを辞めて、研究を行うことができた。
- ・ 生活費の工面に余裕ができた。

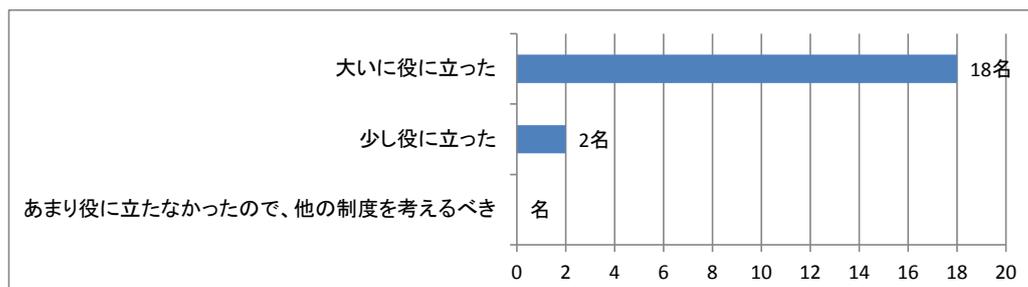
(4) 学業以外の用途に使用されましたが、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

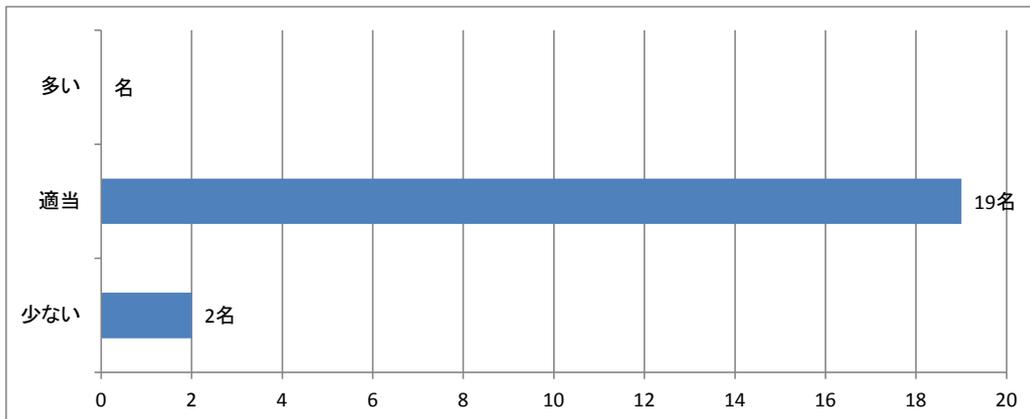
- ・ アルバイトの時間を学業に充てることができ、卒論や国家試験の勉強に集中できた。
- ・ アルバイトに時間を割くことなく、卒業研究に取り組むことができた。

3 奨学金の給付は、大学生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？



4 奨学金の給付額についてお伺いします。

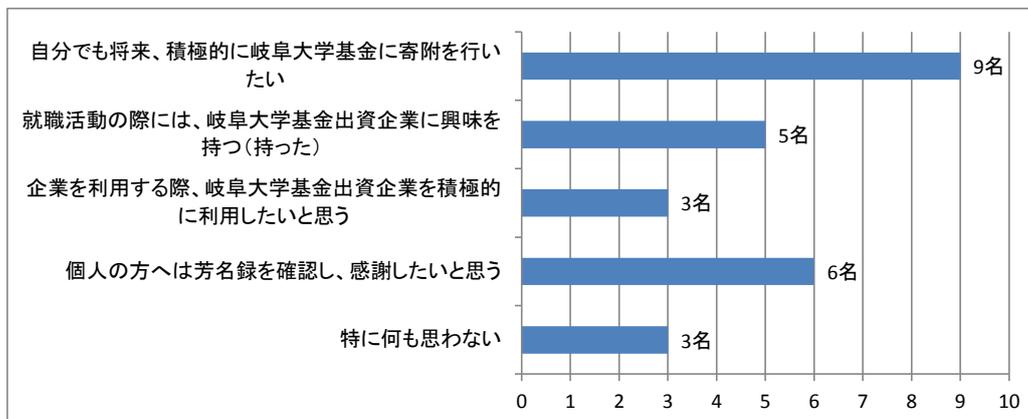
学部学生	月額 30,000円
大学院研究科修士課程（博士前期課程、教職大学院）	月額 30,000円
大学院研究科博士課程（博士後期課程）	月額 50,000円



少ないと回答した内訳（具体的な金額）

8万円/月 1名

5 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答可）



6 応援奨学生の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（自由記述）

・本奨学金を給付いただいたおかげで、生活の質を落とさずに学業に専念することができました。このご恩を忘れず、社会に還元していく所存です。この度は本当にありがとうございました。

・応援奨学金のおかげで、研究に専念することができ、自分でも納得のいく結果を出すことができました。研究生生活で培ったスキルを生かして、社会貢献をするという形で恩返しをしたいと考えています。

・応援奨学生に選ばれたこと自体も自信にとって喜ばしいことでした。勉学に集中できる時間が本当に増えましたので、自身の成長と研究室の発展にかなり良い力添えとなりました。今後も自身のように充実を感じることができる学生が増えたらいいなと思います。

・大変お世話になりました。このおかげで学業に専念することができました。就職して、岐阜県へと貢献していくことで、恩返しをしたいとおもいます。

・毎月、奨学金をいただけて本当にありがたかったです。奨学金のおかげで研究にしっかり取り組み、充実した学生生活を送ることができました。

・この一年間、応援奨学金によりご支援いただき、より一層学業に専念することができました。ありがとうございました。自分も将来、こういった形で学生の支援などを行える様になりたいと思います。

・大学院進学を決めたとき、金銭面ですごく心配でしたが、応援奨学金を頂くことができ、進学不安が減りました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも岐阜大学で一生懸命勉学に取り組んでいきたいです。

・博士となり、英論文を書くこと、海外に発表していくことも増え、英語の勉強にかかるお金が増えました。これらを行ってこれたのは、応援奨学金を頂いたおかげでした。ありがとうございました。

・とても感謝しています。大学での研究が忙しく、休日をアルバイトにあてとても疲れていたのですが、アルバイトを減らして以前より余裕をもって生活できるようになりました。

・非常に有意義な1年につながりました。特に、就職活動や卒業研究で忙しい1年だったので、応援奨学金を受け取ることで、心の余裕ができました。ありがとうございました。

・今まで頑張ってきたことが、この制度により、良いことだと改めて思えるようになった。来年度も機会があれば、受けたいと考えています。そのために今日からこれまでに以上に学業に専念していこうと考えています。

・応援奨学生として、より一層自覚を持ってこの1年間過ごし、結果としては充実した日々を送る事ができました。寄付をして下さった方々に心から感謝しています。いただいた奨学金の分以上に、地域に貢献できるよう、社会人になったら精一杯頑張りたいと思います。

・大変ありがたく、留学にも行くことができ、大変充実した日々を過ごせました。